

2025年度 ブロック長意見交換会

1. 日 時 : 2025年9月7日（日）13：00－14：20

2. 場 所 : 大阪市北区豊崎3-20-1 インターグループビル会議室 ZoomにてWeb会議

3. 出席者

(1) 本人出席者 24名

大橋健(代表理事)、水野勝教(専務理事)、島谷太(理事、阪神)、松山森仁(理事)、森重智年(理事、広島代理)、政岡恵太朗(理事)、梅田寛康(理事)、田中宏明(監事)、高橋忠(東北)、宮下充(関東)、玉水亘(埼玉)、設楽信二(茨城)、吉楽雅典(北信越)、川上誠(静岡)、山田吉孝(東海)、宮崎倫明(岐阜)、永島一輝(石川)、森本奏多(関西・レスキュー技術委員長)、吉本光希(京滋奈・サッカー技術委員長)、祢屋崇(岡山代理)、樋川直人(四国)、是澤郁(九州)、藤井晴基(Co Space技術委員長)

(2) 欠席者 6名 今井俊二(理事、沖縄)、野村泰朗(理事)、瀧本英智(理事)、瀬谷知之(福島・栃木)、山田巧(群馬)、玉島琢巳(兵庫)

(3) その他出席者 前田正久(事務局長)、休場万喜(事務局)

4. テーマ

- (1) ジャパンオープン2025年名古屋大会総括
- (2) ジャパンオープン2026年愛知大会について
- (3) その他

5. 資 料

- 資料 - 1 参加者アンケート(要約)
- 資料 - 2 Rescue&Sim.競技運営2026
- 資料 - 3 サッカー総括
- 資料 - 4 活動地図

6. 意見交換会概要

(1) ジャパンオープン2025年名古屋大会総括

・大橋代表理事より、資料 - 1 を基づき、ジャパンオープンのアンケートについて、報告された。
・森重理事より、資料 - 2 を基づき、レスキューとシミュレーションの大会報告がされた。前年比で全体として306→317チームの増加、レスキューラインでワールドへの移行が進んでいるが、メイズではシフトが進んでおらず、シミュレーションの参加チーム数に変化はなかった。森本氏がレスキュー技術委員長に就任した。活動に参加頂けない技術委員がおり、Slackにリアクション頂くだけでもいいので、ご協力頂きたい。大会当日はスタッフのご協力により円滑な運営ができた。一方で返金対応、世界大会推薦チームの年齢確認漏れ等の問題もあり、関係者にご迷惑をお掛けした。2026年競技概要について、国際ルールではLineで傾斜の変更、MazeでDangerous Zoneの追加があるが、現行のフィールドで変更可能。CoSpace Rescueの廃止、CoSpaceは、CoSpace Autonomous Drivingのみとなった。Mazeエントリーの参加資格については、暫定措置を継続する方向で検討中である。

・松山理事より、資料 - 3に基づきサッカーの大会運営について報告がされた。大会進行について、全体的に大きな遅れはなく、システムトラブルもなかった。審判の裁定による遅れはあったが、想定の範囲と考える。当日の運営に問題は無かったが、大会準備スタッフは十分でなかつたため、引き続きスタッフ不足が問題である。その他事案として、大人ロボットによるディスコン、表彰状のタイトル印刷ミスがあった。SCYの新設について、SWLとうまく参加者が分かれたことによりスケジュール管理ができるようになり、かつチーム間のレベル差が改善されて良かった。今後は、SCYからSWLへスムーズに移行できるか注視する必要がある。技術委員へのお願いとして、Slackで新ボールの導入について意見を求めたが、22ブロック中7ブロック的回答で決議することになった。多忙であると思うが、Slackに参加頂きたいと協力を求めた。

・OnStage担当の梅田理事より、OnStage技術委員長に石川ブロック長の永島氏が就任したとの報告がされた。また、課題として、参加者数が減少しており、ロボットが大きくなっていることが要因の一つと考えている。机の上で出来る小さなロボット競技ができるのか等、意見を出し合っている。

・レスキー技術委員長の森本氏より、全国大会に出場したチームでローカルルールを把握していないチームがあった。ブロック大会出場の時点で、ルールに沿ったロボットを作成して欲しい。Slackでローカルルールを決めているので、各ブロックの技術委員長、ブロック長は議論に参加頂きたい。

(2) ジャパンオープン2026年愛知大会について

・水野専務理事より、基本計画案と見積りについて、各技術委員会で検討頂き、9月末までに見直し案を提出してもらうよう依頼している。大会はロボカップジュニアが主催となり、会場は愛知工業大学八千草キャンパスで、協賛金と大会参加費を基に大会を運営する予定である。

・アンケートでも交流会に対するご意見があったので、次の大会では金曜日に簡単なウェルカムパーティ、土曜日にスポンサーも参加できる技術交流会を検討している。

・近日中にスポンサーの募集内容を公開するので、ご紹介頂ける企業があればご連絡ください。

(3) その他

・大橋代表理事より、資料 - 4に基づき、現在活動休止中のブロック（北海道、中丹・南丹、島根）、コロナ後の参加数の推移について説明がされた。続いて、各参加ブロック長より近況報告が行われた。

・東北ブロック長高橋氏より、岩手と宮城を中心に活動中、ブロック大会は2026年1月中に開催予定、東北ブロックHPでノード大会の開催予定を公開中。

・北信越ブロック長吉楽氏より、サッカーは高校、高専を中心に活動をしていたが、教員の退職により参加チーム数が減る可能性あり。参加者が減ってきてるので、新規の参加者が必要。12月21日にブロック大会開催予定。

・茨城ブロック長設楽氏より、コロナ禍後から参加数が減っており、以前ほど回復していない。参加チーム数が少ないため、対戦相手に苦労している。学校にも働きかけをしており、今後の参加に繋げたい。

・埼玉ブロック長玉水氏より、2~3年はチーム数に大きな変化はない。中高の部活からの参加が増えており、小学校で参加した子が、中学の部活動として参加したり、OBの参加もある。課題としては、地域の科学館や学校と連携した活動ができればと思う。来年以降のサッカーライトウェイトのボール作成について、3Dプリンターを使って個人やチームで作成するのは難しいではないか、どこかで共通して製造、販売して欲しい。大橋代表理事より、理事会でも新ボールについて協議し

ており、供給先を検討したい。

・関東ブロック長宮下氏より、サッカーの参加数が減少しており、少子化や高専教員の退職が理由に思われる。今後は、ブロック再編、中央化の検討も必要かと思う。ブロック大会は2026年1月11－12日開催予定。

・石川ブロック長永島氏より、11月30日に金沢市内で子供向けプログラミング教室の開催を予定しており、ロボカップへの参加も呼び掛けたい。

・岐阜ブロック長宮崎氏より、サッカーの参加チーム数が多いので、ボール変更は大きな懸念事項である。ブロック大会は2026年1月12日開催予定。

・静岡ブロック川上氏より、沼津で約20名、岩手で10名弱が活動中で、2月初旬にブロック大会を開催予定。教員の定年によるチーム減少は懸念事項である。

・東海ブロック長山田氏より、参加人数は一定しており、ブロック大会は12月6日に開催予定。

・京滋奈ブロック吉本氏より、高校やOBの協力が積極的なおかげで問題なく運営できている。ブロック大会は2026年1月11日開催予定。

・関西ブロック長森田氏より、参加人数は減少傾向にあり、昨年のブロック大会にはオンラインステージの参加はありませんでした。練習会を開催する等して勧誘をしています。ブロック大会は2026年1月11日開催予定。

・阪神ブロック長島谷氏より、子供向けイベントやプログラミング教室を開催。高校の指導者が転勤してしまったので、今後が心配。

・岡山ブロック長代理祢屋氏より、倉敷ノード11月16日、岡山ノード11月23日、ブロック大会は12月21日開催予定。レスキューの参加は一定していますが、サッカーが減少しており、今年はサッカーオープンの参加は無いかもしれません。

・四国ブロック長樋川氏より、愛媛ノードが人数不足のため香川ノードと合同で大会を運営している。ブロック大会は2026年2月1日開催予定。

・広島ブロック長代理森重氏より、体験会のチラシを小中学校へ配っているが、最近は参加者からエントリーに繋げるのが難しくなってきている。岡山ブロックと協力してチームが集まれる場所を提供する活動をしている。

・九州ブロック長是澤氏より、運営はOB、OGが参加してくれるので問題ないが、参加する子供の数が減ってきている。参加常連校が中心のため、そこからどう参加数を増やしていくかが課題。ブロック大会は2026年1月末開催予定。

・関東ブロック長宮下氏より、HPの進捗状況について質問があった。また、HPの国内ブロック一覧を更新して欲しいとの要望があった。大橋代表理事より、現在Webサイトはリニューアルに向けて作業中のため、早急な変更はできないが、間違いの修正等は対応する。

・水野専務理事より、2027年以降の大会開催地が決定していないので、誘致したい地域、自治体があれば、ご紹介くださいとのお願いがあった。